



No.46
2020.8

Toyooka Nougyou Linkai Dayori

豊岡市農業委員会 広報誌



就任あいさつ

会長 大原博幸

令和二年四月、第八期豊岡市農業委員会が、新型コロナウイルスの感染禍により、社会が大きく混乱するなか発足しました。

さて、最近の農業や農地を取り巻く情勢は、大変厳しいものがあります。新聞によりますと、二〇一五年農林業センサスでは、兵庫県内の農地が次世代に引き継がれず不耕作になっており、その受け手である認定農業者数も減少傾向にあるようです。そのため過去二十年間で、耕作放棄地が二・六倍に拡大しているということです。豊岡市におきましても同様の傾向と想われます。

農地を守ることが、農業委員会の役割であり、今まさにその成果が期待されています。農地の点検活動や利用調整、人・農地プラン作成支援など農地利用の最適化に努め、期待に応えたいものです。新型コロナウイルスの感染禍で、日本経済は混沌としており、農業にも大きな影響が出ています。農業委員十九名、農地利用最適化推進委員二十五名がワンチームとなってこの難局を乗り切り、元氣な豊岡市農業を発信していきたいと思えます。微力ではありますが、最善を尽くすつもりです。各委員をはじめ、農家、関係者の皆様のご協力をお願いし、就任のあいさついたします。